

登録コード	A3591347	開講年度	2026			
授業科目	プレゼンテーション演習				担当教員	瀧 康範
英文授業名	Presentation					
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目
					備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ					
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				研究のプレゼンテーションに関する専門的な知識を修得している。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ					
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				研究のプレゼンテーションに関する専門的な知識を有し、効果的に発信できる能力を修得している。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターなどの作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。 なお、最終回の最後の15分に授業アンケートを実施する予定。					
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文や自分自身の研究データについて、スライド等を用いて発表する。					
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦めます。デザインとして分かりやすい資料の作成はもちろん重要ですが、その内容について分かりやすい解説をしたり質疑応答に対処するためには、発表しようとする専門的内容そのものに関する日常的な学習が非常に重要です。時間をかけて掘り下げるようにして下さい。					
(7)成績評価の基準	○ 専門的内容をいかに正確かつ分かりやすく解説できるか（学術論文紹介あるいは各自の研究・実験結果の紹介） ○ 正確かつ分かりやすいプレゼン資料（スライド、ポスター、要旨、レジュメなど）のレベル ○ 質疑応答やディスカッション能力 上記が、教員をかなり感心させるレベルにあれば「卓越している」、満足できるレベルであれば「かなり上にある」、納得できるレベルであれば「やや上にある」、それほど問題ないレベルであれば「水準にある」とします。					
(8)事前事後学習の内容	プレゼンテーション用資料（スライド、ポスターや要旨、レジュメ）の作り方、効果的な口頭発表の仕方について、学習して下さい。 また、指針にも書きましたが、プレゼン内容そのものに対する十分な理解が重要です。					
(9)テストやレポートの予定	なし					
(10)成績評価の方法	課題として作成したプレゼンテーション資料（スライド、ポスター、要旨、レジュメなど）50%，資料の解説と質疑応答50%として成績をつけます。 秀：90～100点、優：80～89点、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下					
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室において随時対応します。					
(12)履修上の注意	特になし。					
【教科書】	特に指定しない。					
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）					